

郷の杜 第14号

園長のつぶやき

多くの方の力を借りて

園長 渡部靖久

今年度、児童家庭支援センターの設置が認められました。構想から約八年。

ようやくその必要性を千葉市は認めてくれました。

さらに一時保護専用施設がこの秋に開所します。

三年前の児童虐待死事件を受けて一時保護所が満所になり、少しでも普通の生活を送れる居場所が欲しいと思い、土地を購入して一年、皆の思いが一つになり、一時保護専用施設が完成しました。

地域の理解がなければ到底できませんでした。

気がつけば多くの人たちの支えがあり、そして資金援助がありました。

応援してくれている方々の思いを大切に、社会的養護下にある子どもたちを、一人でも多く支えていきたいと思えます。

本来ならばこのような施設はない方が良いでしょう。

地域で子どもたちを見守れる社会になるまで、私たちは施設を守り続けようと思えます。

最後に、直接感謝の気持ちを伝えたいのですが、コロナ禍の現状で、毎年十一月に行われている響魂祭を今年は中止せざるを得ない判断しました。

でも感謝の気持ちは伝えたくて、子どもたちと職員で、響魂祭に代わるものを考えています。

楽しみにして下さい。

子どもたちは今、働ける大人になるために頑張っています。

私たちが生活するとき、必ず、人と人の助け合いがあります。

私たちは助けられてばかりです。

自分たちは何をして人を助けられるのだろう。

どんな仕事ができるのだろう。

社会の一員として、響の杜の一員として。そのために今、一生懸命勉強をしています。

社会に出るための基礎作りです。

子どもたちは可能性に満ち溢れています。

自分が得意なこと、性格的に向いていることを生かして、社会に貢献してほしいと思っています。

これからも私たちを見守っていただけたら幸いです。

いつもありがとうございます。

一時保護専用施設

あおぞら

【蒼空ホーム】

開設！



ホーム長 渡辺裕子

一時保護専用施設「蒼空ホーム」がスタートします。

温かく穏やかな空気の流れる生活を目指し準備が進んでいます。

様々な事情から家庭での生活が難しくなった子ども達。

今までの生活から一瞬にして切り離された事への不安、戸惑い。

家庭で過ごした日々での出来事。

家族への思い。

「これからどうなるんだろう？」との思いを抱えて来た子ども達。

その目に最初に映る光景「蒼空ホーム」

何が映るだろう？

何を感じるだろう？

子ども達がこれから送る長い人生の中で

「蒼空ホーム」で過ごした日々が

「安心できた」と思える様になりたい。

楽しい食事、温かい食事、清潔な寝具、自分だけの部屋、穏やかな日々。

準備をしながら多くの人達に支えられている事を実感し感謝しています。

その思いに応え「蒼空ホーム」が動き出します。

私達職員は一時保護の持つ重みと責任を再度、頭に入れながら

一歩を踏み出します。



夏の思い出

今年はコロナの影響で、例年通りの夏休みとはいきませんでした。が、響の杜学園ではキャンプ場を貸し切り、キャンプを実施するなど、少しでも思い出が作れるように夏を過ごしました。その中で楽しかったことを子どもたちに聞きました。

なつやすみはキャンプにきました。
てんとのながたのしかったです。
てんとのなかにすみたいです。

H・T



ぼくは、なつやすみ中に「キャンプ」をしました。大へんなことも、あったけどたのしいこともありました。

いちばんたのしかったのは、「ウォークラリー」の赤いひもをわりばしでとるミッションです。また、こんどキャンプがあれば、やりたいです。

K・A

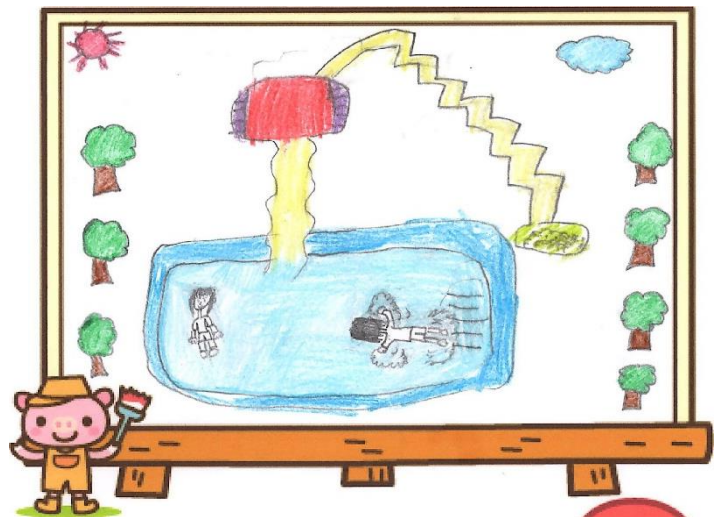
自分が印象に残った思い出は、キャンプです。キャンプでは自分がリーダーとなり、グループのメンバーをまとめるのが難しかったです。また自分はこの夏のキャンプで誰とでも協力できるように成長しました。このことを生かしてこれからも自分から協力などをしたなと思いました。

H・Y



キャンプがおわったあとにプールをだしてみずあそびをしました。
みんなと一つしよにおよぎました。水でつぼつをしました。たのしかったです。
すべりだいでした。すべりました。
またらいねんもやりたいです。

N・M



八月二十日と二十二日に野球の試合がありました。僕はキャプテンをやらせてもらいましたが、二十日の試合が終わった時、キャプテンは無理だと園長先生に言いました。

なぜなら、野球が出来る子にまかせっきりで、迷惑をかけてしまったからです。でも、園長先生に無理だと言いにいった時、「キャプテンを選んだ理由は、Rくんだから選んだんだよ、Rくんじゃなきゃダメなんだよ」と言われました。

その言葉でキャプテンを続けると決意ができました。二十二日の試合では、負けてしまったけど、キャプテンとして最後までやりきりました。良い夏の思い出となった野球でした！



Y・R



HPのご紹介

ともに育つ会のHPにて、響の杜学園の行事の様子やお知らせなどが掲載されています。【千葉みらい響の杜学園とともに育つ会】と検索していただき、ぜひご覧になってください。

お礼



響の杜開園以来、たくさんの方々に来園して頂きました。また、数々の寄贈もあり心からお礼を申し上げます。皆様の温かい贈り物を身体と心で受け止め、子ども達は感謝の気持ちを忘れる事なく日々生活しております。

本来ならば、お名前を掲載してお礼申し上げたいところですが、ご迷惑にならないよう差し控えて頂きますことをご了承下さい。

編集後記

今年の夏は長雨や厳しい暑さが続き、コロナ禍の不安も相まって例年になく日々でした。しかしこんな状況でも毎日を真っ直ぐに生きていく子どもたちの笑顔や成長が見られると「私たちも負けていけない」と襟を正されます。まだまだ子どもたちから学ぶことがたくさんあります。

広報誌ですが、職員の手作りにて作成しております。至らない箇所がありましたら、申し訳ございません。今後ともよろしくお願い致します。

千葉みらい響の杜学園 広報委員会

鈴木郷・三好由香子・松尾奈津子

深山真由・金坂美幸

響の杜 第14号

発行日:令和2年10月吉日

社会福法人 天祐会

千葉みらい響の杜学園

千葉県千葉市中央区

川戸町 92-1

TEL:043-310-6001

FAX:43-310-6002

Email:

hibiki@tenyuukai.jp